

2004.10

NO.10

LETTER

目次

- ◆ きょうとグリーンファンド総会を終わって 2
- ◆ 環境教育について (板倉 豊)
総会交流会紹介・新聞記事 3
- ◆ 太陽光発電需要増・その中味は? (林 敏秋) 4
- ◆ 脱原発への展望をもとう (堀 孝弘) 5
- ◆ 2004 おひさまプロジェクトただいま進行中 (大西啓子) 6
- ◆ 食器洗い乾燥機は省エネ? (木原浩貴)
「電気使用量のお知らせ」票, 見てますか? (龍池妃都美) 7



特定非営利活動法人
きょうとグリーンファンド

きょうとグリーンファンド総会を終わって

きょうとグリーンファンドでは総会を5月23日、ひと・まち・交流館 京都にて開催しました。会員総数56名のうち(出席12名、委任状15名)により2003年度活動報告、同決算報告、2004年度活動計画、同予算案はすべて原案通り可決しました。2000年に発足したきょうとグリーンファンドの活動もお蔭さまで丸4年が過ぎました。5年目という節目の年を迎えるに際し、今年度、新理事長に板倉豊が就任しました。(プロフィール:京都精華大学 環境社会学科教員、自然観察会「京都自然教室」の運営に携る。)

<会計について>

一般会計は皆様のご協力により、順調に会費をいただきましたお蔭で、事務所もスリムながら活動しています。下記、収支計算書、貸借対照表をご参考に。

収支計算書
2003年4月1日から2004年3月31日まで

一般会計		科 目	決 算 額	【經常支出の部】	470,597]
【經常収入の部】				事 業 費	
会 費	収 入	(345,000)		お び さ ま 基 金 支 出	0
正 会 員 会 費	収 入	216,000		会 社 交 通 費	0
賛 助 会 員 会 費	収 入	129,000		旅 費	0
事 業 費	収 入	(0)		通 信 運 送 費	0
補 助 金	収 入	(0)		広 報	4,594
地方公共団体補助金	収 入	0		プ ロ ジ ェ ク ト	57,255
民間補助金	収 入	0		諸 委 託	165,000
寄 付 金	収 入	1,559,982		管 理 費	358,258
寄 附 金	収 入	261,025		事 務 局 手 当	589,934]
募 集 金	収 入	1,298,957		事 務 局 手 当	0
ブ ロ ジ ェ ク ト	収 入	192,500		旅 費	5,900
お び さ ま 基 金	収 入	1,106,457		交 通 費	142,820
雑 収	収 入	51,028]		通 信 運 送 費	97,544
受 取 利 息	収 入	28		消 耗 品	65,599
雑 収	収 入	51,000		事 務 用 品	24,603
經常収入合計		1,958,010		手 刷 製 本 費	1,060
				印 刷 費	14,390
				賃 借 料	0
				租 税 公 課	204
				負 担 金 支 出	6,500
				雑 費	231,324
				經常支出合計	1,060,531
				經常収支差額	895,479
				【その他資金収入の部】	
				その他資金収入合計	0
				【その他資金支出の部】	
				予 備 費	0
				その他資金支出合計	0
				当期収支差額	895,479
				前期繰越収支差額	803,500
				次期繰越収支差額	1,698,979

貸借対照表
2004年3月31日現在

一般会計		科 目	金 額	(単位:円)
【資産の部】				
流動資産				
現 金	預 金		1,391,801	
立 替 金			307,178	
流動資産合計			1,698,979	
資産合計				1,698,979
【正味財産の部】				
正味財産				1,698,979
(うち当期正味財産増加額)				(895,479)
負債及び正味財産合計				1,698,979

環境教育について

板倉 豊 (きょうとグリーンファンド理事長)

最近猫も杓子も「環境教育」、「環境教育」とかまびすしいが、環境教育とはなんぞやと考えてみると、自動販売機でペットボトルのお茶を買う時に胸にちくりと後ろめたさのこる人間を育てることだと大胆にいいはなっています。

少しばかり日本の環境教育の歴史を振り返ってみると、1950年代には日本自然保護協会(筆者も所属する団体で、自然観察指導員の講習会で有名)が自然保護教育という観点で国に対して要望書を出しているのが最初です。1960年代になると激化する公害事件に対応して文部省の学習指導要領に公害学習の項目が登場するようになります。1970年代になると公害教育から環境教育へという動きが活発になってきます。1980年代になると環境教育の認知がすすみ

環境庁には1986年「環境教育懇談会」が設置されます。1990年代になると筆者も所属する「日本環境教育学会」(1990)が立ち上がり全国的に環境教育が活発に行われるようになります。2000年代になると「総合的な学習の時間」におけるメインテーマの一つに環境教育が据えられます。また2003年にはとうとう「環境教育推進法」が制定されます。これは世界的にみると1972年の国連人間会議(ストックホルム会議)における「環境教育の重要性」や、1975年の国際環境教育専門家会議(ベオグラード会議)におけるベオグラード憲章(環境教育の枠組みの提示)や、1977年の環境教育政府間会議(トビリシ会議)のトビリシ宣言等の世界的な環境教育の先進的な取り組みに比べて日本は多いに遅れているもののやっと日本も環境教育が緒についた感があります。

冒頭の説明ですが、1年中1日中大量の電気を消費し、まずい缶コーヒーを飲むよりは自分でたてたコーヒーの方が味も良いし、コストも安いなども、環境問題の観点から教育します。そして観察会や遠足には家で作ったお茶を水筒に入れてもって行くことが環境に優しく、カッコいいことだと言うことを家の人や児童本人にも思わせるようになることが究極の環境教育であると思う今日この頃であります。

(京都精華大学人文学部環境社会学科教員)

太陽光発電の成果披露



「おひさま発電所」を設置した成果について報告し合う参加者
(京都市下京区・ひと・まち交流館京都)

自然エネルギーの普及に取り組むNPO法人(特定非営利活動法人)「ぎょうとグリーンファンド」(京都市中京区)が二十三日、市民参加型の太陽光発電「おひさま発電所」の成果を披露する報告・交流会を下京区の一と・まち交流館京都で開いた。

同ファンドは会員らによる基金などをもとに、太陽光発電を幼稚園や保育園などに二〇〇一年から設置を始めた。現在、京都市と城陽市にある五施設が導入している。各施設の関係者が集まり、情報交換するために初めて報告会を開いた。

環境への意識高まる...

まず同ファンド理事長の板倉豊・京都精華大助教授が「環境教育ってなに？」をテーマに講演、「知識を身に付けよう、すばらしいと感動する」ことが大切」と話した。

続いて、五施設の関係者が次々と成果を発表した。〇二年二月に太陽光発電を二番目に設置したあけぼの保育園(伏見区醍醐)の矢島里美園長は、職員らが節電を心がけるなど環境への意識が高まっていると報告。子どもたちは毎年、卒園して変わっていくので、繰り返し環境の大切さを教え続けたい」と話した。

4月5日 京都

GNPO法人きょうとグリーンファンド

「おひさま発電所」報告・交流会

2004年度の総会、交流会の様子が、京都新聞と毎日新聞に報じられました。これは、京都新聞の記事です。



太陽光発電需要増 ・ その中味は？

林 敏秋 (ワーカーズコープ エコテック)



太陽電池の生産ラインの増強

住宅用太陽光発電システムの売れ行きは好調のようです。新エネルギー財団 (NEF) の補助金応募状況は、8月20日時点で前年同日比1.4倍の約3万件の応募があります。ちなみにNEFの最近の応募状況を見てみると、2001年度約2万5千件、2002年度約4万件、2003年度約5万件とこの不景気の時代にめずらしく右肩上がりの状態です。太陽電池のメーカー各社は生産ラインを増強し、この「需要」に対応しようとしています。もちろん右肩上がり「需要」が伸びているというのは、自然エネルギーの普及を目指す私たちにとって大歓迎すべきことなのですが、その中味を見てみると少し不安になってきます。

訪問販売の甘い言葉

実はこの「需要」は、ほとんどが訪問販売で作られていたようです。個人住宅にすんでいる人は、既に何度か電話がかかってきたり、



訪問を受けた経験があると思います。訪問販売といえば「しつこい」というイメージがあります。そのイメージを作るのに一役買った会社に「朝日ソーラー」という太陽熱温水器の訪問販売会社がありました。朝日ソーラーは、強引な訪問販売で、1997年4月、国民生活センターから社名公表という制裁を受けます。朝日ソーラーは、2700名いた社員が400名ほどに減少します。

1997年といえばCOP3が開かれた年でもあります。温室効果ガス、二酸化炭素の削減に太陽電池よりも効果がある太陽熱温水器のイメージが悪くなったの

は残念なことでした。COP3以降、環境への関心が市民の間でも高まり、太陽光発電は飛躍的な伸びを見せていくのです。

この朝日ソーラー事件で退職した営業マンたちは、いま太陽電池の訪問販売で活躍しているといわれています。新たに会社を起こした人たちもたくさんいます。強引な訪問販売が改められたかはわかりません。しかし、時々私たちの元にも消費者からの相談の電話があります。一例を挙げますと「営業マンが太陽光発電は儲かるといっているが事実か」といったものです。実際、訪問販売会社のチラシには錬金術でも使うのかといった数字が踊っています。

市民の冷静な目が必要

太陽光発電は、平均すると年間約1000時間しか動きません。3kWのシステムだと年間に発電するのは3kW×1000時間(h)=3000kWhです。関電では時間帯別契約でも売電の購入価格は、約25円なので年間75000円しか産み出しません。これは変えようのない事実なのですが、オール電化製品(電磁調理器や電気温水器など)とセット販売してあたかも太陽光発電で利益がでるかのようなトークが横行しているのです。

太陽電池のトップメーカー某社では、販売会社が一年間で半分近く入れ替わるという噂があります。当たり前かもしれませんが、業界には販売量が多いところを優遇するという弱肉強食の風潮が主流です。こんなことで本当に太陽光発電が業界として根付いていくのか、市民に受け入れられていくのか大きな不安があります。太陽電池のメーカーも「儲ければ良い」という時代遅れな考えを変えて、健全な業界確立のために努力してほしいと思います。消費者も太陽光発電を導入して電力の消費量が増えたのではあまりにも悲しいではありませんか。

脱原発への展望をもとう

堀 孝弘 (NPO法人環境市民)

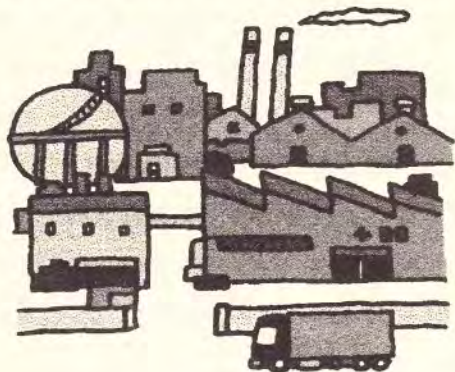


原発がフル稼働の現実

2004年8月9日、またしても痛ましい原発事故が発生しました。これまで原発事故の原因を「作業員マニュアル違反や操作ミス」に求めてきた人たちも、大手電力会社のこれほどまでの安全軽視（採算重視）の姿勢にあきれたことでしょう。

それでも「原発のない社会はもはや考えられない」という人もいます。たしかに原発による発電量実績はすでに34%（2000年度 関西では40%）に達しています。しかし、設備容量は20%しかありません。原発は一旦稼働すると発電量の調整が難しいため、点検や燃料の入れ換え時以外は日夜ほぼフル稼働され稼働率は80%に達します。季節や時間帯による電力需要の変動への対応は水力や火力発電が担い、これらの稼働率は低くなります。それで20%しか発電能力のない原発が結果的に34%もの電気をつくり出す訳で、「原発がなくなったら34%の電気がなくなる」わけではありません。設備容量が20%程度の今なら、まだ脱原発への展望がもてます。

ところで、日本は自然エネルギーの中でも、風力発電の普及では欧米やインドなどに大きく差を付けられました。大型化が容易で発電効率の高さなど、おおいにメリットのある風力発電ですが、大型化による圧迫感、寒い時期や夜間に多くの電気を発生させる（電力需要とのズレ）などの問題もあります。



その点、太陽光発電は、屋根の上など遊休地が使える、電気の需要と発電時間がほぼ合致する。メンテナンスが容易など、大きなメリットを持っています。しかも日本は太陽光発電の開発と普及で世界に先行していて、環境面だけでなく次の国家的基幹産業としても太陽光発電は大きな可能性を秘めています。しかし、まだまだ価格の高さや理解の不足などが普及の壁になっています。

そこで、多くの人が考えるのは「国や自治体に助成金をださすべき」でしょう。たしかにその通りですが、アジテーションや実践を伴わないロビー活動だけでは圧力になりません。その点、「NPO法人きょうとグリーンファンド」は、多くの力を集めて、地道に太陽光発電が身近な場所に設置されるよう働きかけてこられました。しかも設置した発電設備を教材に、設置場所を学習の場として、さらなる理解者の拡大に務めてこられました。

地道な活動が理解者の拡大に

設置までの仕組み作りと、設置後の学習ソフトの開発といった「活動のモデル化」で、とても優れたものを築いてこられました。本当に敬意を示したいと思います。これまでもそうでしたが、環境市民としてもチラシの配布や、講演の中で紹介するなど、「おひさま発電所」の普及に微力ながら協力させてもらいます。環境市民も地域での実践活動を大切にしていますし、それは団体としてのミッション実現のため取り組んでいるわけですが、どこまでを自分たちが担い、どこから自治体等に担わせるか、またそのパトタッチをどのように実現していくか、大きな課題と考えています。モデル化ですぐれたものをもってらっしゃるグリーンファンドが、今後他のNGOや自治体と協働していけば、より大きく発展されることと期待しています。

2004 おひさまプロジェクト ただいま進行中!



大西 啓子

京都ライオンズクラブの助成を受けて、京都市内の2つの保育園で「おひさま発電所」設置プロジェクトが進んでいます。今回も多くの方々の「思い」が「かたち」となりますよう、ご支援をお願い致します。

両園とも太陽光発電設備は5kW規模、よく日の当たる南面の屋根にパネルが設置されることになっています。

● **陵ヶ岡おひさまプロジェクト**—— 京都市山科区陵ヶ岡保育園は、創立30周年を迎えました。地元で農業を営んできた創立者の思いを活かした給食の野菜作りや収穫行事を大切にされた保育をされています。山科区で一番先に朝日の当たる日ノ岡の地にあるこの保育園に設置されることになった「おひさま発電所」6号機。このことをきっかけに、早速環境に対する取り組みがはじまり、夏祭りはエコロジーに。点灯式は12月4日に予定されています。

● **はぐくみソーラープロジェクト**—— 京都市伏見区にある春日野園は、園に沿って日野川が流れる自然がいっぱいの保育園です。廃食油の回収など日ごろの活動を大切にされている他、地域を巻き込んで日野川にビオトープをつくり、それをきっかけに川の生き物やごみの問題などを保育活動に取り入れておられます。2回目となる「水辺のフェスティバル」も地域団体や学生などを巻き込んだ催しとなっていました。点灯式は2005年の1月15日の予定です。

おひさまプロジェクトに



新しいスタッフが・・・

■ ■ 清水玄太 ■ ■

みなさん、はじめまして。今回「春日野園」のおひさま発電所づくりに参加させていただいている清水と申します。

気候ネットワークで自然エネルギーの勉強をしている中で、おひさま発電所のことを知りました。子供たちとわいわい楽しみながら発電所を設置している雰囲気さがすごく気に入ったので、ぜひとも参加したいと思っていました。

現在、春日野園では夏祭りも終わり、発電所設置までの折り返し地点に立ったところです。実際参加してみると、楽しいことばかりでなく、保育園とのやりとりが大変だったり、やってみないとわからなかった苦労を身にしみて感じています。けれども大西さんをはじめ、グリーンファンドの方々に支えてもらいながら何とか頑張っています。来年の1月15日に無事点灯式が成功するように、自分にできることをしっかりとやっていきたいと思っています。今後ともよろしく願いいたします。

(同志社大学文学部4回生)

■ ■ 中野大 ■ ■

「りょうがおか おひさま発電プロジェクト」に関わっている、中野大です。大学2回生の頃から、自然エネルギー普及に興味を持ち、「気候ネットワーク」や「京のアジェンダ21フォーラム自然エネルギーワーキンググループ」の活動に関わってきました。その中で、実際におひさま発電所設置を進め、同時に環境教育や意識啓発に取り組んでいる「きょうとグリーンファンド」を知り、現場からいろいろ学び、取り組みを広げていきたいという想いから、このプロジェクトに関わるようになりました。まだまだ、見習いの段階で戸惑うことも多いのですが、これまでの活動を活かして、保育士さんや保護者の方のための研修プログラムやイベントづくりに力を入れてがんばりたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。(立命館大学政策科学部4回生)

食器洗い乾燥機は省エネ！？



木原浩貴(京都府温暖化防止センター)

記録的な猛暑となった夏も過ぎ、季節は秋に向かおうとしています。エアコンも冬まで(あるいは来年の夏まで)お休みの期間に入りますね。ところで、皆さんのご家庭では、エアコンを使わない時期には、そのコンセントを抜いていらっしゃるでしょうか。家庭の電力消費量の1割近くは「待機電力」(コンセントがささっているだけ、つまり、使われるのを待っているだけの状態で消費される電力)として使われています。何ヶ月も使わない状態にあるエアコンのコンセントがさしっぱなしになっているのはちょっと無駄。コンセントは抜いておきましょう。

さて、今回は、食器洗いの話を。

最近、スイッチ一つで食器を洗ってくれる家庭用食器洗い乾燥機が出回り始めています。「食器洗いを機械に頼るなんて、ぜいたくだし、エネルギーの無駄遣いだ」と思われるかもしれませんが、しかし、少量のお湯を循環させて使う「ため洗い・ためすぎ」方式なので、実は手洗いに比べてかなり大きな省エ

ネになると言われています。年間の光熱費・水道代で考えると、約6,000円の節約になるとのこと。CO2排出量で言うと、3.6kgの削減になります。高温で洗浄できるため洗浄能力が高いことも「売り」の一つです。機械の使用=エネルギーの無駄使いと決めてかからず、こういったものをうまく活用することも、省エネの一つの方法なのかもしれませんね。

もっとも、「食器洗い乾燥機は手洗いに比べて省エネ」というのは、手洗いの時に(冷房期間を除いて)お湯を使用し、また出しっぱなしにすることを想定してのもの。まずは、できるだけお湯を使わないあるいは温度を低めに設定するようにし、加えて水の使用量を削減するといった取組を実践するほうが先決です。「機械に負けない省エネ皿洗い」を目指して取り組んでみましょう。それは、光熱費を削減し、地球温暖化防止にもつながります。

参考資料：

家庭の省エネ大辞典(省エネルギーセンター)

「電気使用量のお知らせ」票 見えますか？

みなさん、郵便受けの中に毎月入っている「電気使用量のお知らせ」票(右参照)なるもの、じっくりとご覧になっていますか。

請求金額のチェック(これは皆さんされていると思います)の後は①(今月の使用量)と②(前年同月の使用量)の比較をしてみましょう。①の方が②より多かった方、あまり変わらなかった方、ちょっと節電に努めてみませんか。

まず毎日の暮らしの中で、待機電力をなるべくカットしてみましょう。そして使っていない部屋の電気、廊下や玄関、洗面所、トイレ、お風呂場なども気をつけて消し忘れに注意

「電気使用量のお知らせ」票

いつも電気をご利用いただきありがとうございます

様

お客様番号 01121234567890

電気使用量のお知らせ

〇年11月分(ご使用期間 10月1日～10月31日)

使用電灯A

①ご使用量 310kWh

計数番号 123
当月指示数 9910
前月指示数 9600

②(ご参考) 前年同月のご使用量 (ご使用期間10月2日～10月31日) 280kWh

ご請求金額 6,861円

種別	11月12日	平収期末日 11月21日
基本料金	294.00	口振替割引額 -50.00
1度料金	1,865.85	燃料費調整額 ±00.00
2度料金	4,176.00	調整後電灯料金 326.00
3度料金	249.20	

〇年11月分 〇年12月分
15kWhに対して ±△△△△ ±△△△△
15kWhを超える15kWhにつき ±△△△ ±△△△

〇年10月分
使用電灯A
ご使用期間 10月1日～10月31日
ご使用量 310kWh
前月末日 10月10日
前月金額 16,549円 *****
消費電灯料金(再掲) 314円

返済期日 12月3日

関西電力株式会社 九条営業所
〒111 11月1日

連絡先 伊丹地区 06 6582-4861 九条 営業所
電話 伊丹地区 06 6582-2881 九条 営業所

http://www.kapco.co.jp

します。炊飯ジャーや電子ポット(湯沸しポット)による保温も電気消費量が大です。また、白熱灯を電球型蛍光灯に替えたり、エアコンや冷蔵庫なども買い替え時には省エネ型のものに切り替えるなど、それぞれのご家庭にあったやり方で節電に心がけてみてください。きっと①と②の数字の差に変化が現れるはずですよ。

前月分との比較ももちろんよいのですが、季節によって家電製品の使用状況が異なるので、なるべく同じ条件にするためにも、前年と同月比をチェックしたほうが、節電効果が目に見えて現れるでしょう。

毎月一回この「お知らせ票」を見てニヤリと笑ってください。

(龍池妃都美)

□きょうとグリーンファンドのメンバーになるには？

- 会員は、会費をおさめ会の運営を支援します。「NPO 法人社員」にあたります。
- サポート会員は、ファンド(基金)への寄付のみの参加です。

I. まず、会員か賛助会員かをお選びください。(入会申し込み書は事務局まで)

会員	10000 円/年	催し物のご案内、会報(年3回程度)をお送りします。 ※会員は「NPO 法人社員」として会の運営に参加していただきます。
サポート会員	6000 円/年	催し物のご案内、会報(年3回程度)をお送りします。

II. 次に、払込みの方法をお選びください。

郵便振替 (年払い)	☆下の口座に直接振り込んでください。年1回(入会月) [郵便振替口座 00930-6-157817 きょうとグリーンファンド]
郵便局からの 自動払い (年払い)	◆会員…年1回 10000 円(入会月)が引き落とされます。 ◆サポート会員…年1回 6000 円(入会月)が引き落とされます
郵便局からの 自動払い (月払い)	◆会員…年1回 4500 円(入会月)と、月々500 円が引き落とされます。 ◆サポート会員…月々500 円が引き落とされます。

★ろうきん口座からの自動払いの方法もあります。この場合手数料はかかりません。詳しくは事務局にお問い合わせください。

< ぐりふあん日誌 > 2004年

- | | |
|--|---------------------------------------|
| 3/24 第34回理事会 | 6/14 あげぼの保育園ワークショップ |
| 3/29 京都府アドバイザリー事業ヒアリング調査(長岡京市) | 6/15 自然エネルギーWG |
| 4/2 (ゆりかご保育園)、4/6 (エコテック) | 6/16 陵ヶ岡保育園セミナー |
| 4/1 自然幼稚園におひさま発電所設置決定通知書送付 | 6/25 第36回理事会 |
| 4/2 長岡京市ゆりかご保育園反省会参加 | 6/30 ぐりふあんレター、おひさまだより編集会議 |
| 4/7 グリーンコンシューマーキャンペーン実行委員会参加 | 7/5 自然エネルギーWG 大手筋商店街ヒアリング |
| 4/14 NEDO 説明会参加。その後陵ヶ岡、自然、春日野各保育園に概要説明実施 | 7/6 自然エネルギーWG 京都市担当者と懇談、その後会議 |
| 4/16 KBS ラジオ「ラジオ七福神」・環境トーク出演 | 7/14 あげぼの保育園見学、マレイシア/カンダール氏他、留学生など6名 |
| 4/20 陵ヶ岡保育園打ち合わせ | 7/15 城陽市環境パートナーシップ会議にて「おひさま発電所」について説明 |
| 4/19 自然エネルギーWG | 7/17 あげぼの保育園エコ夏祭り参加 |
| 4/20 2004年京都府事業についての打ち合わせ | 7/20 木津町/愛光保育園「おひさま発電所」について説明 |
| 4/21 事務局会議 | 7/21 ぐりふあんレター編集会議 |
| 4/22 京都府アドバイザリー事業(綾部市)に説明会実施 | 7/25 京都省エネラベル協議会、発足シンポジウム参加 |
| 4/24 陵ヶ岡保育園ミニ学習会・説明会実施 | 7/28 第37回理事会 |
| 4/30 第35回理事会 | 8/5 事務局会議 |
| 5/10 尼崎市/善法寺保育園へのおひさま発電所設置に関して説明 | 8/20 自然エネルギーWG |
| 5/17 おひさま発電所セミナー | 8/25 事務局会議 |
| 5/19 自然幼稚園セミナー | 8/26 陵ヶ岡保育園、春日野園確認書他打ち合わせ |
| 5/21 春日野園セミナー | 8/28 陵ヶ岡保育園エコ夏祭り参加デモンストレーション |
| 5/23 きょうとグリーンファンド総会、 | 8/29 春日野園「水辺の集い」参加 |
| 5/23 「おひさま発電所」報告・交流会 | 9/6 自然エネルギーWG |
| 5/28 自然エネルギーWG | |

特定非営利活動法人きょうとグリーンファンド

事務局

〒604-8155

京都市中京区烏丸通錦西入る占出山町 308
ヤマチュウビル2F (火～金 13:00～17:00)

TEL/FAX 075-241-0550

E-mail grifan@h7.dion.ne.jp

ホームページ <http://www.h3.dion.ne.jp/~kyoto-gf>

